

## ◆生活道路の整備

18年度は新規4か所、継続25か所を予定しています。関宿地域と野田地域を結ぶ江戸川左岸連絡道路は、18年度も引き続き整備を進めます。

都市計画道路整備では、清水公園駅前線が、18年度もボックスカルバート築造工事を実施し、その後道路改良工事を行い、20年度当初には開通する予定です。堤台柳沢線は、18年度から用地取得を考えています。

野田地域外郭環状線の整備では、18年度は、船形吉春線の用地取得

を行います。今上木野崎線は県事業で橋の詳細設計を行う予定です。

関宿地域では、結城野田線、我孫子関宿線それぞれ県事業として用地取得、工事などを進めています。

## ◆まちづくり交付金事業

次木親野井周辺地区では、市の区画整理事業に合わせ、バス停留所整備、イルミネーション装飾、住居表示板設置、防犯灯・街路灯設置、都市計画道路次木古布内線整備などを行います。

花井周辺地区では、スポーツ広場整備に加えて、住居表示板設置や防犯灯設置、平成やよい通りの

舗装打ち換え、公共下水道污水管埋設を実施します。

また、梅郷駅周辺地区では、西口での市の区画整理事業に合わせ、情報板設置、公園整備、区画道路整備、上下水道ガスの埋設、防犯灯設置を行うとともに、梅郷駅橋上化、都市計画道路梅郷東駅前線、宮崎山崎線、梅郷駅東口駅前広場の整備、東口の電線地中化を行う予定です。

なお、16年度から実施している宮崎周辺地区は、18年度残りの一棟の川重住宅購入と、市営住宅としての整備を計画しています。市

## 全公共施設の調査を終了

策  
スベ  
スト  
ア  
対

## 6施設の含有建材を早急に撤去

市では、「アスベスト対策本部」を設置して、公共施設の実態調査や総合相談窓口の開設、アスベスト使用の家電用品の無料戸別収集などに取り組んでいます。

昨年8月以降、市の建築専門職員が全公共施設を調査し、アスベストを含有している可能性のある特定の建材などの使用実態調査を行いました。

その結果、このほどこすべての公共施設の調査を終了し、再調査により新たに確認された1か

所を含め、最終的に「吹き付けロックウール」などが28か所で、「折板裏打ち石綿断熱材」が1か所で使用されていたことが判明しました。そのうち、基準となる1パーセント以上のアスベスト含有が確認されたのは9か所ですが、未利用であった1か所はすでに撤去工事が完了し、残る8か所で、万全を期して大気測定を行いました。

結果は、いずれも参考となる大気汚染防止法の濃度内でしたが、屋内で建材が露出している5か所は

出来る限り早急に撤去する(すでに1か所は撤去済み)方向で、準備を進めています。

また、残る3か所のうち屋外で建材が露出している1か所は、飛散防止のための包囲工事を完了し、他の2か所は建材が露出していないことから、将来改修工事などを行う際に撤去します。

なお、アスベスト一部が空気に触れていたことから、早急に買い替えるとしていた関宿学校給食センターの回転釜は、買い替えを完了し、大気測定の結果も参考濃度内でした。

【問合せ】管財課

管住宅南側の道路拡幅整備のための用地買収と新たに公園を整備するなどの用地を買収する計画であり、整備工事は19年度を予定しています。

## 駅周辺整備の推進

### ◆連続立体交差事業と関連事業

県は、愛宕駅と野田市駅を含む約4キロメートルの都市計画を、17年8月に決定告示しました。現在は、18年度の事業認可を目指して、県と市、鉄道事業者が連携して詳細な調査、設計を進めています。事業認可後に、鉄道の実施設計や事前調整などを行い、工事に着手する予定と聞いています。

野田市駅西土地区画整理事業は、連続立体交差事業と同時に、約6ヘクタールの区域の都市計画の決定を行い、事業認可に向けた測量や関係機関との協議調整を進めています。今議会に「野田市駅西土地区画整理事業施行に関する条例」を提案していますが、18年度は、事業認可を受けて土地区画整理審議会を立ち上げ、道路などの都市施設の詳細な設計を行う予定です。また、関連事業の愛宕駅周辺地区のまちづくりは、旧イトーヨーカ堂店舗敷地を含む一団の土地を、土地開発公社が商業用地造成事業の用地として取得するため、関係

者と協議、交渉してきた結果、所有者と契約を締結し、競売取下げ、担保解除を経て、所有権移転を完了しました。今年の秋を目途に売却する予定です。

なお、駅東地区は駅前広場と駅前線を18年度から交通結節点改善事業として、国庫補助事業の採択を受けて整備する計画です。

### ◆駅東西連絡通路の整備

次に、清水公園駅東西連絡地下通路は、予定どおり工事が進み、



工事が進む清水公園駅東西連絡地下通路

19年3月に完成する見込みです。

また、七光台駅東西連絡自由通路は、18年度に、連絡自由通路や駅舎の築造工事などが行われ、19年3月に完成予定です。

なお、七光台駅東口取付道路は、用地買収に先立つ境界の確認に時間を要し、工事の年度内完成が困難となったことから、今議会に工